中国株ウィークリーレポート

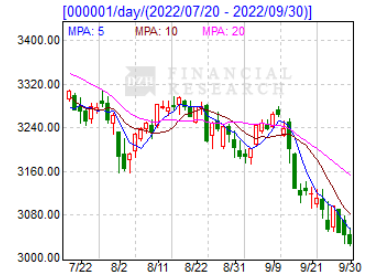
DZH Financial Research

2022/10/3

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数

▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率（%）	週間騰落率（%）	年初来騰落率（%）	21年末株価
NYダウ	28,725.51	-500.10	-1.71	-2.92	-20.95	36,338.30
NASDAQ	10,575.62	-161.89	-1.51	-2.69	-32.40	15,644.97
日経225	25,937.21	-484.84	-1.83	-4.48	-9.91	28,791.71
上海総合	3,024.39	-16.81	-0.55	-2.07	-16.91	3,639.78
滬深300（CSI300）	3,804.89	-22.26	-0.58	-1.33	-22.98	4,940.37
ハンセン	17,222.83	56.96	0.33	-3.96	-26.39	23,397.67
中国企業	5,914.08	1.83	0.03	-3.28	-28.20	8,236.35

【株式概況】

先週の動き：ハンセン指数は 4.0%安と 5 週続落、上海総合指数は 2.1%安

香港市場ではハンセン指数が週間で 4.0%安と 5 週続落。米国をはじめとする主要国の金融引き締め強化で世界景気後退への警戒感が高まり、リスク回避の売りが続いた。米長期金利の上昇や米ドル高に伴う資金流出懸念も相場の重しとなり、9 月 29 日には約 11 年ぶり安値をつけた。本土市場では上海総合指数が週間で 2.1%安と 3 週続落。人民元安が進むなか、中国からの資金流出懸念が相場の重しとなった。週末にかけては 1 週間の国慶節連休を前に持ち高調整の売りも広がった。

今週の展望：香港市場は底値圏でもみ合いか、本土の国慶節連休で 1 週間休場

香港市場は 4 日が重陽節で休場のため 4 日間の取引。今週は底値圏でもみ合いの展開が予想される。足元の相場下落を受けて短期的なリバウンドは期待されるものの、米国をはじめ主要国の金融引き締めで世界的な景気後退への警戒感が強まっており、本格的な反転は見込みにくいか。中国政府による相場対策や景気下支え策など政策期待が高まる可能性はあるが、米雇用統計の発表を 7 日に控えていることもあり、週末にかけて様子見ムードが強まることも考えられる。本土市場は国慶節連休で今週は 1 週間休場となる。

▼今週の期待材料

◆16 日に 5 年に 1 度の中国共産党大会が開幕、開幕を前に相場下支えの動きに期待が高まる可能性も

◆中国政府による不動産支援策の発表相次ぐ、銀行当局は住宅ローン金利の下限規制を緩和

◆ハンセン指数は直近 5 週間で約 15%下落、約 11 年ぶり安値で短期的なリバウンドが入る可能性も

▼今週の懸念材料

◆中国で国慶節連休開始も長距離旅行は低調なスタート、新型コロナの感染散発で長距離旅行を敬遠

◆人民元の対米ドル相場が年初から 10%超下落、人民元安の進行で資金流出加速に警戒感

◆主要国の金融引き締め強化で景気後退への警戒感が強まる、週末 7 日に米雇用統計の発表を控え様子見も

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

		週末終値（HK$）	騰落率（%）
1	ｻﾝｽﾞ･ﾁｬｲﾅ(01928)	19.70	11.68
2	石薬集団(01093)	7.78	11.14
3	銀河娯楽(00027)	46.40	5.69
4	海底撈国際(06862)	15.40	5.34
5	華潤ビール(00291)	54.65	4.00
6	美団(03690)	165.60	3.31
7	農夫山泉(09633)	45.55	2.36
8	薬明生物技術(02269)	47.40	2.16
9	翰森製薬(03692)	12.42	1.97
10	恒安国際集団(01044)	35.10	0.14

▼騰落率下位

		週末終値（HK$）	騰落率（%）
1	碧桂園服務(06098)	11.56	-15.00
2	碧桂園(02007)	1.82	-14.95
3	龍湖集団(00960)	22.55	-11.91
4	申洲国際集団(02313)	61.35	-11.66
5	創科実業(00669)	75.85	-10.97
6	吉利汽車(00175)	10.82	-10.87
7	新世界発展(00017)	22.30	-10.80
8	長江実業地産(01113)	47.20	-10.52
9	Link REIT(00823)	54.90	-9.93
10	中国宏橋(01378)	6.50	-9.85

▼今週の主なイベント

10 月 3 日(月)
【中国】国慶節で休場(～7 日)
10 月 4 日(火)
【香港】重陽節で休場
10 月 7 日(金)
【米国】雇用統計(9 月)

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

☆ キャセイ・パシフィック（00293）：新型コロナの水際対策緩和受けて 10 月から増便
☆ 東風汽車集団（00489）：支配株主が H 株 1500 万株を取得、追加取得継続の意向
☆ テンセント（00700）：連日で自社株買いを実施、直近 2 週間で 0.13%を取得
☆ 理想汽車（02015）：9 月の納車台数が 62.5%増加、7－9 月期は 6%増
☆ 万科企業（02202）：中国政府が不動産支援策を相次いで発表、販売回復に期待
☆ 中国建材（03323）：支配株主が H 株 2400 万株を追加取得、保有比率が 44.3%に上昇
☆ ビリビリ（09626）：10 月 3 日付で香港セカンダリー上場からプライマリー上場に変更
◇ シノペック（00386）：ロンドン市場での預託証券上場廃止を申請、11 月 1 日付で廃止
◇ 蔚来集団（09866）：9 月の納車台数が 3%増と伸び悩み、7－9 月期は 29%増
★ BYD（01211）：半導体子会社の深セン分離上場計画、上場手続きが再び中断

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。
本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。
ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。
DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。
本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。
また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。
本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。
本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。
DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。
DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合もあります。
DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。
本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。
本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。
＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項＞
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。